

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	公民館学習活動(セミナー・講座)	担当者	教育委員会	社会教育係
-------	------------------	-----	-------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	1. 個性を尊重し、心豊かな人生を送れる村／教育・文化の向上／社会教育の充実・社会教育の振興			
関連する主な計画等	教育振興基本計画			
根拠法	教育基本法、社会教育法			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	全村民			
事業開始年	1967年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	身近で起きている様々な問題について村民が自ら解決する意欲を高めるとともに、主体的な自己表現や地域づくり活動を支援する。
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・主な公民館セミナー・講座 公民館セミナー1回、学習会6回、講演会2回 高齢者クラブ研修会 1回、健康講演会 2回 集会・イベント4回 学習活動支援(団体支援)2回

実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館セミナー ①経済セミナー:萩原氏、聴講者91名 ・学習会(あち未来塾) ①②地域づくり:岡田氏:37名、保母氏:32名③教育:石井氏19名、④保育:宮里氏:14名、 ⑤若者:乾氏:15名、⑥福祉:竹内氏:31名、 ・講演会(社体) ①スポーツ講演会:亀山氏、聴講者101名 ②スポーツ講演会:松永氏、聴講者38名 ・集会・イベント ①成人式:62名②阿智祭③駅伝大会:51チーム④社教研 ・学習活動支援 ①福島キャンプ ②訪問看護シンポジウム
-------	---

歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	講師謝礼	308				
	講師旅費	99				
	託児賃金	5				

事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額(千円)	518	474	412	1,464	464
	うち一般財源	518	474	412	1,464	464
	うち補助金					
	うち個人負担					
	従事職員(人)	3	3	3	3	3
	正規職員					
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	学習意欲のある村民の要望を尊重する。	B
	手段、成果は妥当か	a	参加者アンケートの結果からも継続実施の要望多。	
	対象者の設定は妥当か	a	誰もが参加できることが重要。	
	村の関与は妥当か	a	村民の学習の場を公的に保障することは重要	
有効性	期待された効果が得られたか		様々な課題提起を行い学習意欲の啓発を行うことができた。	A
効率性	コストの削減に努めたか	a	謝礼については一定の基準を設けるなど、経費は必要最小限となるよう努めた。	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	集会後の取り組みをつくりだす工夫が弱かった	
公平性	受益者負担は適切か		受益者負担なく、全ての村民の参加を保障することが公平と考える	A
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	参加者の幅(特に若者)を拡げていくことが必要。潜在的な課題や学習意欲の掘り起こしが必要。やって終わりにならないよう、学習の場が継続発展していく仕組み作り。
今後の取り組み	集会の準備過程において参加者が主体的に地域の課題を考える場をつくることを重視する。参加者が主体的に学習が継続していく支援・仕組み作りを行う。